

## 【報告事項1】

# 令和2年度事業報告（抜粋）

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

## I 概況

南越法人会（以下「本会」という。）は、昭和35年6月の創立以来、税のオピニオンリーダーとして税制はもとより、政治・経済に的確に対応しながら地域の振興及び企業の発展に尽力し、公益法人に相応しい活動へと精進してきた。

令和2年度の地域及び企業を取り巻く環境は、多発する大規模な自然災害と新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）が収束せず、死亡者数も地球規模で増加しているなど厳しい局面が継続している。このため、感染拡大防止策や事業者を示されている給付、補助、融資及び税の軽減等様々なコロナに関する支援制度について、関係省庁から周知要請が再三あり、広報に努めてきたところである。

一方、国の財政状況は、コロナ対策費として数度に及ぶ補正予算による大規模な財政出動から急速に悪化している。この未曾有ともいわれる社会経済の混乱は、本会の事業活動にも大きな影響を与え続けてきた。特に、不特定多数の参加者を求める事業では、やむを得ず中止または規模縮小などの措置を講じて実施することとなったが、会員企業をはじめ、税務及び教育の各関係機関並びに諸団体から格別の御理解と御支援を賜ったことにより、以下に掲げるとおり、取り組むことができた。

## II 事業報告

### 1 適正な申告・納税を普及、推進する事業（公益事業1）

#### (1) 税知識の普及・推進事業：研修委員会（研修会等の講師は税務署職員）

- 決算期別申告講習会（1回）
- 新設法人説明会（1回）
- 年末調整説明会（1回）
- 税務研修会（1回）
- 税関係図書の配付、研修用のDVD貸出

#### (2) 納税意識の高揚事業：厚生委員会、広報委員会、研修委員会、青年部会、女性部会

- 租税教室（対象小学6年生）：5校実施（神明小、武生東小、北日野小、北新庄小、国高小計334名）講師は青年部会役員とし、終了後にアンケートを実施（311名回答）
- 税金の参考図書寄贈：全小学校6年生の各クラスに1冊「税金のちしき」
- 税に関する絵はがきコンクール（対象小学6年生）：31校から1,300点応募  
主催：本会、全法連 主管：本会女性部会  
協賛：武生商工会議所、鯖江商工会議所  
後援：国税庁、教育委員会、租税教育推進協議会、福井新聞、丹南ケーブルテレビ  
募集・審査：文書を数回郵送して募集、審査は2回実施（審査員に洋画家）  
表彰内容：最優秀賞1点、優秀賞13点、佳作47点、入選108点、学校賞6校  
表彰式：中止とし、3月3日付けの表彰状等を直接学校へ持参  
副賞：優秀作品～図書券・マーカー・ノートなど  
学校賞～学校名入りサッカーボール各2個（袋付き）図書「税金の働き」1冊  
参加賞～児童は鉛筆・消しゴム・クリアファイル、学校はバスケットボール

#### ○税のキャンペーン

- コロナ対策としてボウリングと確定申告早期提出キャンペーンは、規模を縮小して実施
- ・事業所対抗ボウリング大会 [会場：アルプラザボウル] (39名参加)
- ・映画上映会兼確定申告早期提出キャンペーン [会場：鯖江アレックスシネマ] (200名参加)
- ・e-Tax 確定申告書送信会 [会場：榎シャルマン] (20名参加)

## 【報告事項1】

### (3) 税に関する情報発信事業：広報委員会

国及び地方の各行政機関からのコロナ関連情報の周知依頼には、全面的な協力を行った。

- ・ 広報誌「NET」の発行（年4回：1月20日、4月20日、7月20日、10月20日）
- ・ 座談会：4月「丹南の日本酒づくり」、1月「法人会活動とSDGs」
- ・ ホームページによる広報
- ・ 南越税務連絡協議会機関紙「税を考える広場」による広報（年1回：2月1日全戸配付）
- ・ 広告塔による納税意識高揚（鯖江市南公園グラウンド）
- ・ 大蔵財務協会発行「税のしるべ」に記事提供

### (4) 税制・税務に関する調査研究並びに提言事業：税制委員会

- ・ 税制改正提言取りまとめ活動（アンケートの実施・・・31名分、具体的提言7件）
- ・ 税制改正提言活動（税を考える週間期間を中心に、国会議員、市町の首長等へ手交）

## 2 地域企業と地域社会の健全な発展目的事業（公益事業2）

### (1) 地域企業の発展及び地域社会への貢献事業：総務委員会、研修委員会、青年部会、女性部会

- ・ セミナー、講演会等の開催（4回）・・・主な講師と演題  
伊本貴士氏（メディアスカッチ㈱代表取締役）「AIで考えるSDGsによる問題解決」  
伊藤公一氏（税理士）「相続と事業承継に多い悩みに迫る」＜青年部会＞  
伊藤公一氏（税理士）「年末調整のポイント」＜女性部会＞  
牧野百男氏（NPO 国連の友アジアパシフィック特別顧問）「女性が輝くまちづくり ～SDGs推進～」

### (2) 社会貢献事業：女性部会、総務・広報委員会

- ・ 使用済切手回収運動 約4キロをJOCSに寄付  
この事業はSDGs推進にも貢献している質の高い事業として評価された。
- ・ 新型コロナウイルス飛沫防止用アクリルパネル贈呈  
武生税務署の窓口及び個別相談コーナー用として7枚贈呈した。

## 3 共益事業

### (1) 会員のための福利厚生事業：厚生委員会

○健康管理事業（人間ドックPETコース5%割引利用紹介）

- ・ 済生会病院利用 21名
- ・ 福井大学附属病院利用 0名

○各福利厚生制度の加入促進（保険協力3社）

- ・ 大同生命保険㈱、AIG損害保険㈱、アフラック

### (2) 会員増強事業：組織委員会

- ・ 地区ごとに展開していた会員増強運動は、コロナ対策上できなかつた。
- ・ 会員の状況

会員数 (令和2.3月末)	入会数	退会等数	会員数 (令和3年3月末)	加入率
(内賛助8) 2,199社	(内賛助1) 10社	87社	(内賛助9) 2,122社	59.6%

(参考) 3年3月末現在：青年部会33名、女性部会員62名

## 4 その他会議の開催状況

- ・ 親会、各委員会、部会等の会議開催（13回、内決議省略3回）
- ・ 全法連、北法連及び県法連等主催の会議へ出席（内決議省略2回）
- ・ その他関連団体主催会議等への出席

## 5 参考（福井県法人会連合会の地域貢献事業）

- ・ 「令和2年度ひよこ手帳キャンペーン」特別協賛
- ・ 「わんぱく駅伝」「中学駅伝」特別協賛
- ・ 「キッズ防犯ブザープレゼントキャンペーン」協賛